

序 章 中山間地域の価値の再認識と集落対策の必要性（案）

広島県の中山間地域の成り立ち

広島県の中山間地域は、中国山地のなだらかなやまなみや、芸予諸島などの多島美、瀬戸内海に流れ込む太田川や芦田川、日本海に流れ出る江の川など瀬戸内海から中国山地にわたる多様な自然景観を有しています。

また、瀬戸内海沿岸の都市地域との近接性を活かし、広範囲に人が住み続けることで、人と自然が適度な距離間で関わる豊かな「里山」「里海」が形成されてきました。さらに、中山間地域は、食料生産や薪炭によるエネルギー供給などの役割を担いながら、人々が都市地域と頻繁に往来することで、一体的な生活圏を形成し、現在の多様性に富んだ地域特性を確立してきました。

中山間地域が持つ多様性に富んだ地域特性

では、広島県の中山間地域における多様性に富んだ地域特性とはどのようなものでしょうか。

その一例を挙げれば、絶滅が危惧される動植物も育む生物多様性、中国山地の広葉樹林や地域に広がる田園、同山地を水源とする河川から瀬戸内海や日本海に至る水循環が挙げられます。また、安全安心な農林水産物の供給、森林や田畑が持つ災害抑制効果などもあります。

また、四季の変化に富んだ田園風景や多島美などの日本の原風景や、神楽、花田植えなどの伝統文化、多様なアウトドア活動等による心身のリフレッシュ効果、農のある暮らし、子供たちの生きる力と情緒を育む様々な体験を通じた学習機能など、これらは、都市地域では得ることのできない広島県の中山間地域特有の宝とも言えるものです。

さらに、近年では、カーボンニュートラルの実現に向けた二酸化炭素の吸収源や水力・バイオマスなどの再生可能エネルギーの供給基地としても期待が高まっています。

こうした広島県の中山間地域は県土の面積の約7割を占め、県人口の約1割の人口によって支えられてきました。

中山間地域の人口減少がもたらす影響

これまでの過疎化の段階では、昭和一桁生まれ世代や団塊の世代によって地域の継承がなされてきましたが、中山間地域の少子高齢化に伴う人口減少は、これからさらに急激に進むことが見込まれており、次に継承すべき世代の負担が大きく、その確保が困難な状況となりつつあり、地域の存続が危ぶまれる状況にあります。

この人口構造の変化は、産業や地域の担い手不足の深刻化、農地や森林の多面的機能の低下、災害リスクの上昇、景観等の悪化のみならず、公共交通や地域医療など生活サービス供給力の低下により、住民の生活環境に悪影響をもたらしています。

つまり、中山間地域を支える住民の減少は、そこに人々が暮らし続けることで守り継がれてきた地域特有の宝の消失につながり、その影響は中山間地域にとどまらず、都市地域にも様々な弊害を生じさせ、国民的なリスクへと発展する恐れがあります。

これからさらに不透明な時代を迎える中であって、今こそ中山間地域の有形・無形の宝を守り継いできたそこに暮らす人々の営みに価値を見出し、適切に評価し、その意義を認識すべきことに、より多くの住民が気付くべき時に来ているのではないのでしょうか。

地球規模での課題対応における中山間地域の可能性

その一方で、世界に目を向けると、近年は気候変動等による環境の悪化や新型コロナウイルスによる感染症の流行、国際情勢の変化に伴う物流の停滞など、様々な危機に我が国は直面しています。こうした世界規模での危機を回避し、どのような地域でも人々が暮らし続けられる環境を維持していくためにSDGsの考えが浸透しはじめています。

この地球規模での課題と中山間地域が抱える課題には、共通する点もあり、SDGsの目指す「経済」と「社会」と「環境」のバランスを図っていくうえで、中山間地域が重要な役割を担うことも期待されます。

尊重されるべき中山間地域住民の思い

中山間地域には愛着や誇りを持って生活し続けたいと考える住民が多くいます。これは何よりも尊重されるべきであり、中山間地域対策や集落対策は地域に暮らし続ける人々の願いや思いを持続可能にしていくことを目的として、維持していくことが求められています。

そのためには、中山間地域の価値を地域住民だけでなく、全県民・全国民にアピールし、再認識され、共有してもらうことが重要です。

共通認識の下での中山間地域対策、集落対策の推進

中山間地域の特性やそれらを支える人々の営みの価値を守っていくためには、広く中山間地域対策や集落対策の必要性が共有され、より多くの人々が自分事として、行動に移すことが求められます。さらに、こうした行動を全国的に進めていくためには、中山間地域に広がる個々の集落に一定の人口が残っていて、協働で取組んでいけることが必要と考えます。

無住化リスクを抱える中山間地域においては、地域の持続性を確保していくうえで残された時間は多くありません。

そうした認識のもと本検討会議では、広島県民をはじめとして、国民が、中山間地域の価値を再認識することで、中山間地域対策や集落対策の重要性を理解し、さらに我がこととしてこの活動に参画することを促していけるよう、様々な側面から取組を検討してきました。

本報告は、将来の見通しを含め、現時点において把握できる情報をもとに、今後取り組む必要のある対策について整理を行ったものです。

今後、これらの対策の具体化が図られ、多様な主体の協働と連携の下で、スピード感をもって力強く推進されていくことが、望まれます。